

〈能登半島地震復興応援プロジェクト“甦れ能登”〉

特別展

「能登が育んだ作家たち」



松下久信《早春の福浦港》



坂 坦道《御陣乗太鼓》
一特別展「能登が育んだ作家たち」よりー

■ 歴代藩主の甲冑・陣羽織と加賀象嵌鎧 I

【前田育徳会尊經閣文庫分館】

■ 古九谷と再興九谷【古美術】

■ 幾何学文様のデザイン【近現代工芸】

■ 優品選【近現代絵画・彫刻】

- 企画展Topics まるごと奈良博 一奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクションー
- コレクション展示室に関するお知らせ
- 6月の行事予定
- 学芸室こぼれ話
- 学芸員と楽しむ 国宝《色絵雉香炉》VR体験

企画展(第7・8・9展示室) 〈能登半島地震復興応援プロジェクト“甦れ能登”〉 特別展「能登が育んだ作家たち」

主催／石川県立美術館 特別協力／北國新聞社

後援／NHK金沢放送局、MRO北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送

6月1日(土)～6月23日(日) 会期中無休

本年元旦の能登半島地震による被災に沈んだ能登を、新たな形で再興するための応援プロジェクトとして開催します。

能登に生まれ、今も能登を活躍の舞台とする、現在は生地を離れて新しい土地で制作に励む、能登に魅せられ題材として表現するなど、能登との関わりを感じさせる作家の優品を、当館所蔵品を中心に展示します。

加えて、石川県をあげて能登を応援する展覧会にしたいとの思いから、比較的被害の少なかった金沢市以南の美術館・博物館や県内の作家活動を支援し、数多の優品を所蔵する北國新聞社のご協力も得て企画しました。

本展では作品を時代や技法ごとに分類して紹介するのではなく、第1章「能登に生まれて」では作家の出身地を基準に構成し、第2章「能登に魅せられて」では、作家が制作にあたって取材した地域ごとに展示します。

こうした作家の絵画・彫刻・工芸作品を一堂に紹介し、能登が育んだ優れた作家たちの存在を再認識するとともに、芸術創造のテーマとなる豊かな能登の自然風土に想いを馳せ、能登の再興に向けた機運をより一層高めていきたいと願うものです。

なお本展は能登を支援する目的で、観覧料全額を能登の美術文化の再興のために活用します。

※本展も「令和6年度 石川県立美術館主催企画展入場券」の対象となります。

観覧料

一般 1,000円(800円)

大学生 800円(600円)

高校生以下無料

*2階コレクション展観覧料を含む

*（ ）内は65歳以上の方および20名以上の団体料金

*身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育手帳をお持ちの方、またはミライロIDをご提示の方および付き添いの方1名は観覧無料

関連行事

■小森邦衛(漆芸家・人間国宝)×青柳正規
(当館館長トークショー)

日時…6月1日(土) 13時30分～

会場…石川県立美術館ホール

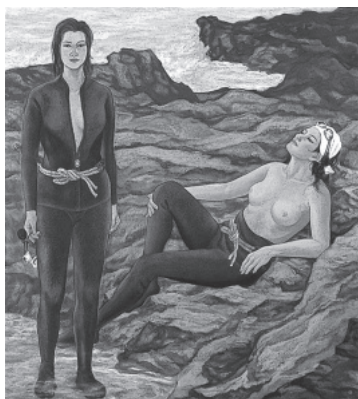
*参加無料・申込不要

■映画上映「重要無形文化財 輪島塗に生きる」

日時…6月16日(日) 13時30分～(35分)

会場…石川県立美術館ホール

*参加無料・申込不要



羽根万象《舢倉島夕磯》



鴨居玲《雪と鳥 於能登輪島》



三谷吾一《海の詩》

歴代藩主の甲冑・陣羽織と加賀象嵌鐙 I

6月1日(土)~6月23日(日) 会期中無休

学芸員の眼

《加賀象嵌鐙》のおもしろさを知ったのは、勤務し始めたばかりの石川県立歴史博物館にて特別展『甲冑・鐙・刀装具』(1997)の補助に入った時です。オーダーメイドのため、同じデザインはふたつとしてないこと。動植物・鳥・幾何学模様などデザインは多彩で、金銀象嵌を用いて華麗であること。江戸時代に贈答品として流通したこともあって各地で確認できることなど、興味は尽きません。この時も北は福島から南は山口まで、長い作品返却の旅に行きました。

人間国宝の中川衛さんも、加賀象嵌鐙に魅了されたひとりです。昨年、パナソニック汐留美術館で開催された「中川衛展」では、前田育徳会所蔵の《水引文金銀象嵌鐙》を見たことが、「金工の象嵌に興味を抱いた」きっかけとして紹介されました。



《水引文金銀象嵌鐙》

毎年6月上旬に「金沢百万石まつり」が開催されることから、前田育徳会尊經閣文庫分館では、「歴代藩主の甲冑・陣羽織と加賀象嵌鐙」の特集展示をこの時期に行っています。今回展示する甲冑は、3代利常所用《黒塗六十二間甲冑》、5代綱紀所用《錠羽形甲冑》、10代重教所用《黒塗十六間甲冑》、11代治脩所用《菖蒲革包頭巾甲冑》の4領です。

陣羽織は、6月1日(土)から23日(日)までのⅠ期では、綱紀所用の《日の出に立波文陣羽織》と《黄無地陣羽織》、8代重熙所用《日の出に立波文陣羽織》、11代治脩所用《日の出に立波文陣羽織》の4領を。7月6日(土)~28日(日)までのⅡ期では、綱紀所用《蕨手文陣羽織》、6代吉徳所用《日の出に立波文陣羽織》、

重教所用《日の出に立波文陣羽織》、14代慶寧所用の《紅羅紗白梅紋下唐更紗陣羽織》の4領を紹介します。あわせて《水引文金銀象嵌鐙》をはじめ、12点の加賀象嵌鐙も展示します。

江戸時代の甲冑は、それぞれ別々になった兜・胴・袖・面頬・籠手・脛当・佩楯を組み合わせて着用します。歴代藩主の好みを反映するだけでなく、当時の最高技術を用いて作られました。兜の形も、変わり兜とよばれる独特の形状のものや、筋兜につく前立も様々です。陣羽織はカラフルなデザインのものが目立ちます。こちらは展示替えを行いますので、Ⅰ期、Ⅱ期とお楽しみください。



《黒塗六十二間甲冑》3代 利常所用

古九谷と再興九谷

6月1日(土)～6月23日(日) 会期中無休

学芸員の眼

1637年に、佐賀藩は有田から日本人陶工826人を追放しました。日本人のみを追放した理由は、キリスト教信仰者の排除だったと考えられます。その年、利常は長崎、平戸に御買手を派遣して名物裂や茶道具の購入にあたらせました。その際に、追放されたキリシタン陶工とも接触し、色絵磁器生産の技術を導入する道筋を付けたと推測されます。

当館が近年行った、所蔵する古九谷釉薬の蛍光X線による科学分析の結果、ヨーロッパ由来の顔料が使用されていたことが判明しました。さらにその顔料は、野々村仁清作の国宝《色絵雉香炉》にも使用されていました。仁清が利常の招請により古九谷創製に関与していた事実は、再興九谷諸窯成立の背景を読み解く上で、大きな示唆を与えてくれます。



《赤絵弾琴図鉢》宮本屋窯

磁器の表面を鮮やかな彩色により装飾する、色絵の技法が日本で最初に行われたのは、酒井田柿右衛門家に伝わる通称「赤絵始まりの覚」と呼ばれる文書の記述から、1647年頃と考えられてきました。しかし近年、ボストン美術館が所蔵する「寛永年製」の銘を持つ《色絵山水人物図向付》について、素地は中国の景德鎮で製作され、上絵付けは寛永年間(1622～1644)日本の有田で行われたと表明したように、日本の色絵は、すでに1630年代から行われていたことが次第に有力視されるようになりました。

ミナリオで聖画制作に使用していたと考えられる顔料が使用されていたことが科学分析により明らかになりました。つまり、日本における聖画需要の逼迫を受けて、紙や布より耐久性の高い媒体として、イエズス会が色絵磁器に着目したと考えることができそうです。しかし1637年の「島原の乱」や、1639年の幕府によるポルトガル船来航禁止によって、イエズス会の宣教活動が事実上不可能となったことで、その生産は途絶え、窯や釉薬などの生産基盤は破却・隠蔽されたと考えられます。そのため、イエズス会主導による色絵の技法は有田では継承されず、また歴史を語ることも禁忌されました。

そこで加賀藩3代藩主・前田利常はこの色絵に着目し、古九谷の創製に着手しました。



《色絵四葉座十字文平鉢》古九谷

近現代絵画・彫刻(第3・4・6展示室)

優品選

6月1日(土)～6月23日(日) 会期中無休

日本画分野の小特集「街並みを愛でる」は、一部作品を入れ替えて今期も展示します。能登半島地震では、輪島や門前の街並みも大きく変わってしまいました。東山魁夷が川端康成から「京都がなくなる前に描いてください」との助言を受け、あの名作《年暮る》を制作したというエピソードを思い起こし、本特集を企画しました。

油彩画分野では高光一也《キクラデスの部屋》をご紹介します。高光がギリシャの美術館を訪れた際、エーゲ海のキクラデス諸島で栄えた古代文明の女性像に出会った体験をもとに描かれており、窓から差し光は地中海の強烈な日差しと健康的な女性美を感じさせます。戦後日本の洋画壇で活躍した高光の晩年の作品です。

素描・水彩分野からは、白尾勇次《或る風景》をご紹介します。

介します。点描やドリッピングなどのタッチで表現された繊細な印象の作品です。国際文化交流の意図を持つ日本国際美術家協会を創立し、海外展にも多数出品を重ねた志賀町出身の作家の作品をお楽しみください。

彫刻分野からは、野島耕之助《青春歓喜》をご紹介します。作者は具象彫刻を追求し、60歳頃まで男性像を中心に制作・発表を続けました。本作は作者の円熟味が増す壮年期のもの。腰に手をあて、片腕を挙げたポーズには、動きと空間性が表れています。肉体の美しさと空間表現に取り組んだ意欲作です。

なお、第4展示室では、昨年度新収蔵となった絵画・彫刻も展示します。



野島耕之介《青春歓喜》

近現代工芸(第5展示室)

幾何学文様のデザイン

6月1日(土)～6月23日(日) 会期中無休

工芸作品は、図形や線などの幾何学文様や作品それ自体が幾何学的なカタチをしていることが多く、それらの組み合わせや造形そのものに、作家の独自性を見ることが出来ます。今回は土による造形作家・久世建二の作品から《落下・痕跡A》《落下・痕跡B》《落下》の3点を紹介します。久世は土がもつ柔らかな部分に注目して作品を制作していました。

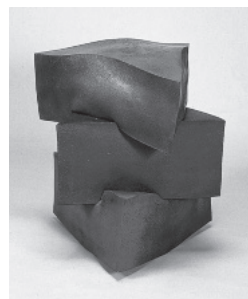
展示中の3作品は、粘土を四角柱、円柱、三角柱をそれぞれ成形したあとに、作品名のとおり「落下」させたり、指で「痕跡」を残してから焼成し、やきものとして完成させます。《落下・痕跡A・B》は四角柱と円柱をそれぞれ焼成前の粘土の状態で落下させているので、落とした衝撃で底面がやや広くなり、側面から

作品をみてみると台形のような形となっています。また、天面には粘土のときにつけた指跡もしつかりと残っていて、粘土の時の痕跡を残しています。同じように《落下》は、三角柱を互い違いに3段重ねて、上に積み上げられた三角柱の一部が垂れていくように落下する様子を作品としたものです。こちらは重ねられた三角柱の重みで、三角柱と三角柱の接地面がグニヤリとなっていたり、側面が膨らんでいたりと、柔らかな粘土だったときの様子を記憶させています。

本展の久世作品は幾何学的な造形に、外からの衝撃を加えて、土の柔らかさを固定するところに独自性があり、見どころでもあります。



久世建二《落下・痕跡B》



久世建二《落下》

まると奈良博—奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション—

7月6日(土)～8月25日(日) 7月29・30日展示替え休館

「まると奈良博」。一見とてつもないネーミングですが、奈良国立博物館が所蔵する国宝14件、重要文化財114件のうち、国宝8件、重要文化財93件(うち2件は寄託品)がやっています。これは所蔵指定物件の約8割にあたります。さらに約100件の未指定品を加えて200件超にもなる出品は、奈良国立博物館130年の歴史上初の出来事です。から、「まると奈良博」というネーミングも大風呂敷とは言えません。

それに加えて、2021年に奈良国立博物館で開催した「奈良博三昧—至高の仏教美術コレクション」で作成された作品解説や、奈良博主催の出張ワークショップ、さらには、同展のテキストを極力取り入れた造作など、日本の仏教美術の殿堂たる「奈良博」を居ながらにして、まると味わって頂ける内容となっています。さらに今回は第10章「北陸ゆかりの至宝」に加え、石川県の社寺から奈良博に寄託されている2件の重要文化財や白山信仰に関連する仏像も出品されます。

本展では、とすると敷居が高く、小難しい印象の仏教美術を、易しい解説やキャラクターを使用し、親しみやすく楽しい仏教美術へと変換します。仏教美術ファンや大人の方はもとより、親子連れや小中学生も楽しめる内容となります。楽しいはずの美術鑑賞を、より幅広い層の方々楽しんでいただけるよう、最善の準備で皆様のご来館を心よりお待ちしております。



「走り大黒」の名で親しまれる
《伽藍神立像》鎌倉時代(13世紀)
奈良国立博物館蔵

コレクション展示室に関するお知らせ

まると奈良博展では、通常の企画展示室(第7・8・9展示室)に加え、コレクション展示室(第2展示室)でも展示を行います。それに伴い、コレクション展示エリアが左記のように変則的になりますので、ご注意ください。なお、第1展示室(雄香炉の部屋)、第4・5展示室は変更ありません。

第2展示室	まると奈良博展	
第3展示室	閉室	
第4展示室	近現代絵画・彫刻	
第5展示室	近現代工芸	
第6展示室	近現代絵画・彫刻、古九谷	

6月の行事予定

■企画展 「能登が育んだ作家たち」関連行事	
1日(土)	小森邦衛(漆芸家・人間国宝)×青柳正規(当館館長)トークショー 13時30分 美術館ホール ※参加無料 申込不要
16日(日)	映画上映「重要無形文化財 輪島塗に生きる」(35分) 13時30分 美術館ホール ※参加無料 申込不要
■土曜講座	13時30分～15時 美術館講義室 無料
15日(土)	「古九谷とは何であったのか」修復工房担当課長 村瀬 博春
■これであなとも雄香炉マスター 学芸員と楽しむ 国宝《色絵雄香炉》VR体験	
9日(日)	13時30分～15時 美術館2階VRシアター ※要コレクション展観覧料 随時受付

学芸室いばれ話

深山 千尋(学芸主幹兼普及課長) 「作品鑑賞の楽しみとは」

普及課に長く所属し、子ども向けのイベント企画に携わってきた私ですが、イベントは自分の作品の向き合い方を見直すきっかけとなる場でもありました。学校に所蔵品を持ち込んで鑑賞を行う「出前講座」では、子どもたちから出る意見の多様性から、作品をみる楽しさを学びました。また、「0才からのファミリー鑑賞会」で、作品にじっと目を向け手足をバタバタさせ、「その作品、すき！」を表現している赤ちゃんからは、自分が作品の魅力をどのくらい受け止めているかと振り返る時でした。今年度も子どもだけでなく、それぞれの感性で作品との出会いを楽しむイベントを開催します。皆様、ご参加お待ちしております。



前多 武志(学芸主幹兼学芸第一課長) 「新緑に想う」

コレクション展(常設展)の展示は、県立や私立の美術館では専門業者が中心に行うところも多い中、当館では伝統的に学芸員中心です。それが、学芸員のスキル向上に資していることは確かです。しかし高齢化の波は、わが館にも静かにそして着実に押し寄せ、なかなか骨が折れます。何しろ近現代の絵画彫刻では150号サイズの絵画や、100kgを超える等身のブロンズ彫刻を扱うこともざらなのです。そんな当館も、近年学芸員の新規採用が続いています。窓外だけでなく学芸室内の新緑が目眩しいこの頃は、展示替えも颯爽たるものです。



これであなとも雉香炉マスター

学芸員と楽しむ 国宝《色絵雉香炉》VR (ヴァーチャルリアリティ)体験

■内容

8Kの超高精細画像から生成した国宝《色絵雉香炉》と重要文化財《色絵雉香炉》のVR(ヴァーチャルリアリティ)モデルを動かしながら、学芸員が作品を解説します。ご参加の方も実際にコントローラーを使って自在に国宝を動かすことができます。香炉の蓋を開けて中をのぞき込んだり、雌雄の雉香炉を見つめ合わせたり、実物と見紛うばかりのVRモデルならではの体験を試みませんか？

■日時

2024年6月9日(日) 13時30分～15時

*VR操作は14時20分から15時までの間で随時参加可能

*混雑時はお待ちいただくことがあります

■会場

石川県立美術館 2階VRシアター

■対象

どなたでも

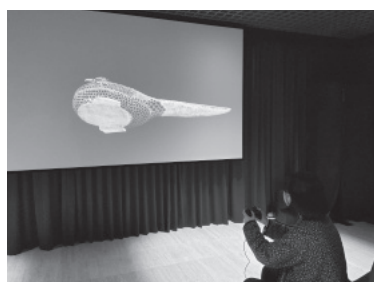
(小学生以下は保護者同伴)

■料金

要コレクション展観覧料

お問い合わせ…石川県立美術館

電話076-231-7580



操作中／雉香炉の底面も見られます！

まると奈良博—奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション—

企画展Topics

会期：7月6日(土)～8月25日(日) 7月29・30日展示替え休館



国宝《薬師如来坐像》平安時代（9世紀）



《出山釈迦如来立像》南北朝時代（14世紀）



重要文化財《愛染明王坐像》鎌倉時代（13世紀）



国宝《金光明最勝王經》奈良時代（8世紀）



国宝《十一面観音像》平安時代（12世紀）

※すべて奈良国立博物館蔵

次の展覧会

令和6年7月6日(土)
～7月28日(日)
会期中無休

※の展示は、7月31日(水)～8月25日(日)も開催

前田育徳会 尊経閣文庫分館	第5展示室	第4・6展示室	第6展示室
歴代藩主の甲冑・ 陣羽織と加賀象嵌鎧Ⅱ	※ まると魅せます いしかわの工芸	※ 優品選 【近現代絵画・彫刻】	※ 九谷焼

企画展示室

まると奈良博
—奈良国立博物館 至高の
仏教美術コレクション—

※

ご利用案内

コレクション展観覧料

一般 370円(290円)
大学生 290円(230円)
高校生以下 無料
※()内は団体料金
6月3日は第1月曜日より
コレクション展示室無料の日

開館時間

午前9:30～午後6:00

カフェ営業時間

午前10:00～午後6:00

6月の休館日は
24日(月)～30日(日)

創業30年余の五木屋本舗で不動のナンバー1
ももアツコ!? のような食感と風味 ご飯のお供にピッタリな豆豚のみそ漬

山にとうふ オリジナル

100g/ 710円 (税込) 広告

全国一律 3個以上のご注文で 送料無料!!

※3個未満の場合、830円～2,300円の送料がかかります(税込・クール料金込)

●お申し込みはお電話で ●受付時間9:00～17:00(日曜・年末年始 休)

050-1868-6979

五木屋本舗

〒668-0203 熊本県球磨郡五木村内635-3

豆豚の味噌漬は日本の食卓へ

●初めてご利用のお客様限定のキャンペーン価格です。●お届けに注文した日より4～6日。
●お支払い方法は、代金引換(代引手数料税込330円)、クレジットカード払い。●万一不良の増色・返品・
交換は商品到着後10日以内に一度にしてください。商品の性質上お客様の都合による返品はご遠慮
願います。●お知らせした個人情報、商品の発送以外に商品・サービスなどの案内のために使用
させていただきます。

石川県立美術館だより
第488号(毎月発行)
2024年6月1日発行
〒920-0963
金沢市出羽町2番1号
Tel: 076(231)7580
Fax: 076(224)9550
URL: <https://www.ishibi.pref.shikawa.jp/>

石川県立美術館は電源立地地域対策
交付金を活用して運営しています。